

暮らしをまもり 町田にぬくもり

政策

- 学校の教材費や学用品、行事費などの無償化
- 医療・介護を強化！現場の処遇改善に全力
- 見守りと移動手段の確保で ご高齢者に安心を

森じゅん子ってどんな人？

プロフィール

私の原点は、幼い頃に祖母と一緒にお年寄りの話に耳を傾けた時間にあります。幼い頃から大切に育ててきた「聴く力」。それは、介護福祉士として現場で切実なお声を聞き止める中で、さらに培われていきました。

3人の子育ては、葛藤の連続でしたが、児童手当の拡充や小中学校の給食費無償化など、公明党の支援に誰よりも救われました。そう実感する私だからこそ、「小さなお声に耳を傾け、市政に届ける」重要性が痛いほどに伝わります。

コロナ禍時には不動産業に従事。悪化する地域経済を肌で感じてきました。地域を歩き、お預かりした切実なお声を、市政で実現してまいります。

1分で紹介

1983年、町田市生まれ。鶴川第一小学校・鶴川中学校、町田家政福祉高等専修学校(福祉科)を卒業後、介護療養型医療施設に3年間勤務。出産・育児を経て、不動産会社に6年半勤務。母、夫、長男、長女、次女の6人家族。野津田町在住。介護福祉士。

公明党公認

森じゅん子

すぐやる！“おんじょう” 地域の実績は300以上！

政策

- スクールバスを生活支援に活用！
- 「小1の壁」解消へ 居場所の確保を推進
- 行政のDXでバーチャル市役所「まちドア」を進化！
デジタル化

おんじょう由久ってどんな人？

おんじょう由久の主な実績！

1962年、群馬県生まれ。東洋大学を卒業後にNECに勤務。「若い時の苦労は買ってでもしろ」との父の言葉を胸に、アジアやアメリカなど世界を舞台に活躍しました。

2018年に初当選以降、民間企業で培った行動力と実現力、そして誠実さで成し遂げた地域実績は300以上！

町田市政の要として、市民の皆様を守り、町田の未来を開くため、多くの政策を実現してきました。妻と娘2人の4人家族。南成瀬在住。

1分で紹介

①Wi-Fiを小・中学校や地域センターに設置！
小・中学校の学習環境を整備するためにWi-Fiを設置しました。また生涯学習のためのイベントが開催されている地域センターや市民センターにも設置。学びの機会を支えます。

②中学校給食センターの整備・防災拠点を併設
温かい給食が提供できる「給食センター方式」を実現しました。給食センターは防災機能やカフェ、調理ができる多目的室も併設し、地域の交流拠点として活用できます。

③補聴器購入の助成で高齢者の“聴こえ”を支援
加齢による難聴の方のために補聴器購入の支援を実現しました。助成額の上限は3万円まで65歳以上(市民税非課税)の方が対象です。

公明党公認

おんじょう由久

誰もが尊重されるまちに

憲法を活かし、人権と平和を守る

■1973 町田市生まれ(旧姓 内田)／きそ幼稚園・忠生第三小・町田第三中・都立町田高等学校卒業(フットボール部) 大妻女子大学短期大学部日本文学系卒業
■2017～18 障がい福祉専門ヘルパーステーション勤務(知的障がい者移動支援) ■2018～21 子育て・教育関連書籍出版社勤務
■2022 町田市議会議員選挙初当選
■フェミニスト議員連盟所属
香雪をなくす議員の会所属
冒険遊び場スタッフ
●趣味 スペイン語
チェス ●成瀬在住
ささくらみどり

誰かが自分らしく暮らせるまちに

子どもがのびのび育つまちをつくる

ジェンダー主流化をすすめる

環境・農業・食の安全を守る

多様性を認め合い、

多様な学びを保障しフルタイム・パート・アルバイトの就業機会を確保する

学校統廃合計画は、当事者の声をきき、地域の状況に合わせた見直しを行う。冒険遊び場の継続を支援する

性的指向・性自認(SOGI)を理由としたハラスメントをなくす

DVや性暴力などあらゆる暴力の根絶

大人も子どもも年齢に応じた包括的性教育を

地産地消・都市農業を守る

遺伝子組み換え作物・GMO編集作物はNO

有害な化学物質対策をすすめる

プラスチックの発生を抑制し、使用を減らす

脱原発をめざし、再生可能エネルギーの活用をすすめる

生物多様性を守るために、第2次野津田公園整備基本計画を見直す

憲法を活かし、人権と平和を守る

市議会議員 成瀬 真実

山田 真実

天笠 啓祐

寺町 東子

松田 博美

横見 子

岩永 やす子

わたべ 真実

中西 佳代子

川島 龍子

田中 のり子

町田・生活者ネットワーク

まちだはいいまちだ！
もっと誇れる町田へ。

小学生3児の母

鶴川高等学校元教員
(現フェリシア高校)

私は町田で4姉妹の長女として育ち、現在3人の小学生を子育てしています。小学1年生の保護者として小学校の統廃合を経験し、子どもや家庭に大きな影響があることを実感しました。町田にずっと住んできて、地域に支えられてきた当事者として、子どもたちが安心して育ち、地域の皆様が安心して暮らせる毎日を守りたいと思いました。

生活と政治は切り離せないで、政治家は身近な存在であるべきです。私は、皆様にとって一番身近な市議会議員を目指し、全力で挑戦します。

皆様のお声を市政に活かせるよう
誠実に取り組みます ばんない さき

あなたの大切な一票を「ばんない さき」に託してください

Profile

●高ヶ坂幼稚園
●南第一小学校
●南中学校
●小川高等学校
●横浜美術大学

都民ファーストの会 公認

ばんない さき

35歳

町田の未来を切り拓く

小沢タケル5つの約束

01 朝7時学校開放「安心朝活プロジェクト」
●町田市独自予算で「見守りワーカー」を新規採用
●朝活プロジェクトの運営は見守りワーカーが完全担当
●教員は授業準備に専念できる環境を維持

02 インフルエンザ予防接種 18歳まで完全無料に
●0～18歳約48,500人を対象、2027年秋開始を目指す
●財源は国・都補助75%、市の負担は月17円
●冬の学級閉鎖をゼロにし、子どもの命と健康を守る

03 交通インフラの改善「どこでも15分」
●交通空白地域ゼロ+70歳以上無料+全世代が快適に
●バスの維持・増便。コミュニティバス、デマンド交通を検討
●住みやすさNo.1に。2027年秋試験運行開始を目指す

04 子育て世代・若年代に選ばれる町田へ
●保育施設整備促進、学童保育拡充、子どもの放課後の居場所づくり
●専門カウンセラーや支援員増員。不登校・いじめ対策を強化
●学校給食費支援の継続等で、経済的負担を少しでも軽減

05 高齢者が安心して暮らせる環境の整備を
●団地の老老近き、移動販売等の誘致支援
●デマンド交通など新しい移動手段の導入
●見守りネットワーク、災害時支援の充実

私たちが小沢タケルさんを応援しています！
下/山田町元町会長 上根神社総代表 白山神社総代表
大谷 公二 中丸 修一 小川 壽紀

【小沢タケル PROFILE】1986年生まれ(39歳)／町田市下小山田町薄山南台地区
祖父：故小澤忠治(元町田工業高校職員) 父：小澤道夫(元東京消防庁職員)
●子どもの森幼稚園、小山田南小、小山田中／東海大学付属菅生高校／東海大学文学部アメリカ文化学科卒業
●元日本剣道連盟社会体育指導員／上根神子連(獅子舞、ひょうこ)／(株)サクセスマネジメント代表取締役社長／町田市農業研修生16期生／自由民主党町田総支部青年部副部長ほか

LINE 公式アカウント

小沢タケル

39歳

自民党公認

森本せいや5期目の挑戦

『どうせ1票では、何も変わらない。』⇒いいえ、その1票でしか、町田市は変わりません。
『政治になんて興味は、ない。』⇒『政治＝生活』です。生活にも興味はありませんか。

●プロフィール
●生年月日と家族
1981年12月5日(44歳) 妻と子、子育て奮闘中
●趣味・特技
柔道(二段)、家庭菜園、読書、バスケットボール
●学歴等
町田市立大蔵保園、大蔵小学校
鶴川第三小学校・学童保育クラブ
立教大学・文学部卒業
●経歴
第一生命保険、衆議院議員秘書を経て、2010年の市議会議員選挙にて初当選。現在4期目(在職16年目)。

●地域発展から、町田市の発展を。
①「鶴川」、「忠生」、「町田」、「南」、「堺」各地域が特性を活かすことのできる街創りの推進。
②町田市は、商業地域、住宅地域、農業地域等、様々な特性を持ったエリアが点在。「賑わいの創出」、「多世代が生活しやすい街創り」、「都市農業への支援」等、各地域の声を聞き、市政へ。
③公共事業、公共調達について、市内事業者を最大限活用し、その連携を更に強化。

●将来にツケを残さない。
①災害時の対応能力向上 ⇒町内会・消防団等地域支援拡充、要配慮者対策の充実、関係部署の増強。
②老朽公共施設の更新 ⇒上下水道、道路、建物の修繕・新設などの管理、市内事業者との連携。
③人口減少社会への対策 ⇒人口流出対策(若者支援)、人口流入促進策(子育て支援、経済促進策等)。
④行政経営改革の継続 ⇒これまで進められてきた「市民目線」での改革を継続。

●公正な社会の実現を。
①交通不便(空白)地域の解消 ⇒バス路線や鉄道駅にも遠い、交通不便地域への支援策を。
②子どもクラブの積極的な設置 ⇒市内5箇所の子どもセンターに遠い地域への小型館を設置。
③アレルギイ給食行政の充実 ⇒町田市独自の自炊式を保持し、きめ細かく対策を。
④ペット共生社会の促進 ⇒市内団体へ継続支援、アニマルウェルフェア実現。

●「生活」に直結する、きめ細やかな政策を。
①早期登校に関する小1の壁の解消⇒学童保育の様な「朝」の居場所づくり。
②学童保育クラブにおける環境改善⇒長期休暇中の給食の提供。
③障がい児、若者の支援拡大 ⇒発達センターの強化、ショートステイの設置。
④高齢者の安心して住める街創り ⇒地域見守り事業の拡大、事業者への支援。

●役職や地域活動
●議会
建設常任委員会 委員長
●地域
法人会・青年部会、商工会議所・青年部(YEG)
青少年健全育成地区委員
町田市消防団、町田市柔道連盟
真光寺川を清流にする会

森本せいや

無所属

小さな声を集め
市政を大きく変える

Takoton KURASHI

暮らし

●学校統廃合の見直し
●バス減便の改善
●ごみ袋代の値下げ
●補聴器補助拡大
●包括的性教育進める

◆1982年7月生まれ。福島県三春町出身。原発事故で実家は除染地域に。原発ゼロへ。東京学芸大学卒。町田市立町田第三小・初任校。世田谷区の小学校で特別支援学級に勤務。2018年に市議会議員初当選。鶴川第二中PTA副会長。家族は夫と子ども2人。趣味は消しゴムはんと、読み聞かせ

日本共産党

田中みほ

たなかみほ

市政も市民参加でのまちづくりを！

★市民や地域の活動、魅力を伸ばす★

人と地域が主体で、一人ひとりが生きいきと暮らせるまちづくり、そして市民に開かれ、成果の見える行政経営を求めて参ります。

◎明日に輝く福祉のまちづくり
市民の方々の声を大切に、生きいきと地域で暮らせる街づくりを目指します。

◎青少年の教育の場づくり
子どもたちの元気な笑顔と笑い声があふれる地域ぐるみの「ふれあい」づくりに取り組みます。

プロフィール

平成14年初当選 現在6期(自由民主党)
元市議会議員(第34代・第38代)
町田地区保護者会会議員
町田地区保護者会支部幹事
町田地区保護者会支部幹事
元町田市民議会自由民主党会派代表
平成24年度町田市民議会議員
元多摩ニュータウン環境組合議員
元新庁舎建設調査特別委員会委員長
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟副会長
元さかみ縦貫道路(圏央道)及び津久井広域道路を促進する議員連絡協議会副会長
平成16年17年22年23年度
災害対策委員会委員長
小山なかよしスポーツ広場管理者

自由民主党公認

佐藤伸一郎

70歳

市民が主役! あなたの声を届けます!

元保育士・子育てと介護と市議15年3ヶ月の経験を生かす!

実現しました!

市議15年3ヶ月の実績

- 学童保育の4・5・6年の全校対応
- 放課後の小学校まちどもの屋内対応
- 全小学校1年生に交通安全ランドセルカバー配布
- 妊婦さんに、「子ども商品券」支給(1万円)
- 新生児臨時特別定額給付金(10万円)
- 中学校で命の尊さを知る「赤ちゃん登校日授業」
- 自衛官OBから市職員へ防災講座
- 自転車用ヘルメット購入費補助
- 食品ロス削減推進・アプリ「TABETE」と連携協定締結

- ① 税金を納める市民が主役!!
- ② 私と一緒に住み良い街を!!
- ③ 子育てで楽しい街へ
- ④ 老後に住みたい街へ
- ⑤ 災害に強い街へ
- ⑥ 交通利便性と、にぎわいの街へ



松岡みゆき 無所属

税理士(経営のプロ)だからできる 行財政改革。



熊沢あやりプロフィール

昭和46年 本町田生まれ/玉川大学/帝京大学大学院/桜美林大学大学院/2児の母(長男中学2年生、長女小学6年生)/税理士

安心と未来が続くこんな町田に!

熊沢あやり 7つの約束

- 公会計のさらなる活用で行政の見える化
- 市民病院の経営改革
- 思春期外来の設置
- 中学校標準服(制服)を市内で統一
- スクールバスの導入
- 地域と学校が一体となるまちづくり
- 里山パークタウン構想の推進

実現しました!

- 学童保育への給食提供を実現
- 公会計制度導入を実現
- 医療費助成の所得制限撤廃



↑詳しい政策はこちら!



私も応援します

大好きなまちだから、ずっとみんなで暮らしたいまちに。



熊沢あやり 自由民主党公認 54才

愛する町田のために!町田市民の声が届く政治に。

- 重点政策: 子どもたち・地域目録の教育 × 不便を感じない町田市の交通環境 × 若者が住み続けたいと思う町田づくり × 福祉のまちだの復活を
- 教育: 小中学校統廃合計画の見直し、学校運営に地域の声をさらに反映、町田市内に公立夜間中学の設置、本の予約待ちを極力減らし、勉強も可とする図書館へ
- 福祉: 大下勝正元市長が創った「福祉の町田」をもう一度、収益第一ではなく利用者サービスの維持が第一の公共福祉へ、施設管理者・就労者・市が対等な立場に立った福祉施設の運営
- 地域・財政: 町内会・消防団・保護司・民生委員等の地域団体活動を手厚くサポート、市の予算決定のプロセスに、現状/将来の担い手が参画、財政調整基金の急激な切り崩しを見直し



はせがわ 圭亮 無所属 28歳

すべての子に 多様な学びと探求を

- 子どもの学び・居場所: 興味や学びに変わる環境づくり、学校内外の学びの場を活用、見えない化、子どもが安心して能動的に学び続けられる居場所を整えます。
- うちの子、大丈夫かな?: そんな小さな不安にすぐ応えられるよう、学校・園・行政が連携し、発達専門家に身近で相談できる体制を整えます。
- 自分らしい健康を選ぶ町へ: コロナ禍で声を上げられなかった人の声に向き合い、検証を重ね、納得して選べる医療・福祉を町田から。



- 未来を預かる、まちづくり: 地産地消で生産者と消費者の距離が近いまちをつくり、自然や里山を未来からの預かりものとして、市民の声を置き去りにしない対話のある開発へ。
- 生活インフラを守る: 移動できることは、生きる権利、通学・通学・買い物。バスの減便を放置せず、市民の足を守る仕組みへ。
- 統廃合ありきにしらない学校づくり: 規模優先ではなく、通学の安全と学びの質を最優先に考え直します。
- 図書館は、知る権利のインフラ: 年齢や家庭環境に左右されず、学び続けられる場を守ります。
- 災害時に機能する市民病院へ: 災害時に市民の命を守る市民病院を、行政がきちんと支える町に。平時から安心して運営できる支援を。



やまき みずえ 無所属 42歳

子どもたちと町田の明日に全力!!

大好き! まちだ!

- 教育は明日への責任。少子化をゆりの教育に活かす
- 心のバリアフリーにインクルーシブ保育・教育推進
- 暮らしを支える保健・医療・介護サービスの拡充
- 高齢化の進む「団地のまち」の再生・リノベーション
- 都内指折りの消防団のさらなる育成で進める地域防災
- 市民主導の行政デジタル化で生活の利便性拡大
- 議会と市民との対話で鍛える私たちの地方自治
- 人権と平和はすべての生活と政治の基本

1968年町田生まれ、団地で育つ。すみれ・草笛・小野路保育園、藤の台・金井小、薬師中、基督教独立学園、和光大卒。妻(作業療法士)、長女(大学生)、長男(高校生)の4人家族。市議5期都議3期。

「人ひとりを救える政治を進める!!」市議・都議として「人によさしい政治」に全力で取り組んできましたがまだまだ半ばです。障がい者、高齢者、こどもと母親、非正規労働者、零細事業者、犯罪被害者、弱い立場の方々により厳しい生活が送られています。ますます支援が必要な方が私たちの目の前には大勢いらっしゃいます。いまこの時、待たずに議員としてさらに全力を尽くし働いていかなければなりません。さらなるお力添えを「今村るか」にお願いたします。



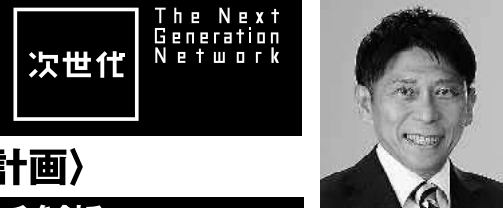
いまむら 今村るか 無所属

次世代に誇れる町田を創る

東京マチダ・プライド

基本政策〈2026マチダ・みらい創造計画〉

- 人を創る: 幼児・教育現場の再点検 → 子育て・子育てを全面支援、青少年スポーツ環境の再構築 → 「子ども料金」新設、公園利活用(時間別・エリア別利用でシェア)、青少年スポーツの聖地創設、奨学金・支援金の創設 → 若者の流出抑制、現役世代支援
- 新しい街のカチを創る: 地域経済の根幹である農業、商工業の経済循環を深化、働き方改革と連動した新しい経済活動の支援、誰もが快適に移動できる街づくり → 駅構内・駅周辺の更新や新交通システムの推進、広域連携(「GREEN×EXPO 2027(国際園芸博覧会)」)と「(仮称)KAMI SEYA PARK」へのコミットメント → 町田市内への経済循環を創る
- 安心・安全を創る: 医療、保健、福祉をトータルで見守る体制の構築、迫りくる大災害への備えを強化、犯罪等から市民を守る体制の構築



友井かずひこ 無所属

産みやすい、育てやすい、育ちやすい町田へ

プロフィール: 36歳、町田市議会議員。北海道出身、2児の母。南町田在住。自身が立ち上げた子どもの事故予防地方議員連盟の活動や、超党派の虐待予防活動が各賞受賞。プレゼン資料を駆使した独自の議会提案スタイルと政策実現の実績、政界のタブーに踏み込んだ調査研究がマニフェスト大賞のエリア選抜に2度選出。



矢口まゆ 日本維新の会 36歳

2期8年で90以上の提案が実現!

次の4年“私にまかせて!”五・七・五

- 1 義務教育 なんてこんなに 金かかる!
- 2 校則も 環境・風土も 改善だ!
- 3 通学の 負担を軽減! 学校・学童
- 4 預け先 なくて辛いよ 乳幼児!
- 5 不祥事の 調査が進まぬ 園・学校!
- 6 都の事務と 財源もらい サービス充実

誇れる町田!未来へつなぐ

- ☆子ども庁を創設し、Children First。子どもも家庭とつながりを実現!
- ☆子どももホスピス環境を整備は急務です。
- ☆若者たちの夢 スケートボードのフィールドと夢を広げたい。
- ☆共生社会への夢 コロナ禍を乗り越え、一人ひとりが夢と希望を持てる“新しいまちだ”を実現することが重要です。
- ☆ドナーの一人として、一人でも多くの患者さんを救うために、命のボランティア・骨髄移植ドナーへの協力を呼びかけています。
- ☆統合医療を推進!
- ☆ワンヘルスの推進! 動物との共生社会を!
- ☆障がい者の町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト(「まちプロ」)を!
- ☆子どもたちから高齢者まで誰もが安心して暮らせる町田に!



ふじた 学 自由民主党公認 56才

国民民主党公認

佐藤かずひこ

53才

凛とした町田市政を！

5期目の挑戦

●すべての市民の命と暮らしを守る

●高齢者が安心して暮らせるまち

●子育てがしやすいまち

●文化・スポーツを通じて地域を活性化させるまち

●環境に優しいまち

●動物愛護を推進するまち

●プロフィール

●地域活動

●経歴

住みやすい地域、実現に向けて行動します！

実現 実行

1. 地域コミュニティサロンの設立

2. 施設利用をより簡単に！

3. 地域密着型の相談窓口

4. スポーツでの福祉活動

無所属

細野一希

46歳

市民の声を
反映させ
まちづくりを
進めます！

学校統廃合は地域住民の意見を
しっかり聞いてから決定を！

地域に根ざした図書館は統合せず
維持・充実へ！

(仮称)国際工芸美術館 整備計画
および、芹ヶ谷公園“芸術の杜”
パークミュージアム計画は地域の
声を反映し見直しを！

新井よしなお

無所属

51歳

『町田をデザインする』

シン・町田構想

シン・まちだの教育

シン・福祉の町田

シン・経済活性化

シン・防災まちづくり

シン・交通まちづくり

若林あきよし

無所属

51歳

インターン生受け入れ
115名

支持政党なし
の方々の代表

2026 新たな決意

吉田つとむ

無所属

バス増便

公共交通の充実

大野まこと

日本共産党

馬力全開！馬部がゆきます！

政策

馬部ゆきまさってどんな人？

公明党の主な実績！

馬部ゆきまさ

参政党 日本の元気は町田から！

参政党公認 前田げんき

32歳

街づくり

×

地域医療

=健康で

活気ある未来。

1 彩り豊かな街づくり

相原地区の豊富な自然を生かした彩りのある暮らしの中で、季節の催しや地域の方々と連携したイベントを実施することで自然と共生する暮らしを!

2 先人の方の地域づくりの継承

相原地区を築き上げてきてくださった先人の方々の知恵や相原イズムを継承した街づくりを!

3 相原地区のバス増便

気候による寒暖差が激しい時期にバス停で長時間待つことで、高齢の方や子供連れの体調を崩してしまうという声がある!

4 学習環境の充実化

地域における学習環境を充実させることで他地区へ通う必要が減り駅までの送り迎えなどのご家庭の負担軽減を!

5 子育て環境の充実化

身近な公共施設や医療機関を充実させ子育て環境を整え、3世代に寄り安心な暮らしができる地元の相原!

6 防犯対策の充実化

全国各地で様々な犯罪が発生している現在、相原地区での防犯対策は喫緊の課題と考えます。時代に即した防犯対策の充実化を!

徹底的に地元の街づくり

さいとうだいき

プロフィール

- ・1995年生まれ
- ・私立桐朋高等学校卒業
- ・日本大学歯学部卒業
- ・大学病院や相原地区で訪問歯科診療に従事

所属

- ・公益社団法人日本歯科医師会 会員
- ・公益社団法人東京都歯科医師会 会員
- ・公益社団法人町田市歯科医師会 会員
- ・町田市歯科医師会 障がい者歯科 協力医

医療職としてできること

町田市に救急救命センターを!

災害時における医療用品備蓄

近隣病院への直通バスの運行を目指します

相原周辺に夜間受け入れ可能なクリニックを!

今日も私は駅に立ち

「おはようございます!」と声をかけます

みなさんと一緒に実現します

●学校と図書館の統廃合は見直しを

●路線バスの増便を

●芹ヶ谷公園の緑と景観を守ります

●市民病院の充実を

●住み続けられる公社住宅を

プロフィール

1954年秋田県生まれ。和光大学文学部芸術学科卒。1990年市議初当選。市議会副議長を歴任。現在、党市議団長。自ら絵を描く。料理もする。好きな歌手は坂本九「見上げてごらん夜の星を」。オートバイの旅も。家族は妻と1女1男。◇「早朝町田駅の人間ドラマ」ブログとXを更新中→→→

日本共産党

進める政治!!

5期20年の経験と実績

自民党

PROFILE

1959年 町田市生まれ。町田四小、町田一中、都立町田高校、立教大学 経済学部及び文学部、早稲田大学 社会科学部 卒業。早稲田大学 法学研究科及び社会科学研究科 修了、一橋大学 国際・公共政策大学院 修了。慶應義塾大学 文学部 卒業、慶応義塾大学 法学研究科 修了。2006年 町田市議会議員選挙 当選 (5期連続)

【市議会】 議会運営委員長、議会改革調査特別委員長、文教社会常任委員長 (2度)、建設常任委員長、災害対策委員長、自民党会派代表、決算特別委員長、町田市交通安全推進協議会 会長等を歴任

【その他】 拓殖大学大学院 地方政治行政研究科 客員教授。町田市消防団第1分団第3部部長。20年永年勤続表彰。中学校・高等学校教諭1種免許状。国家公務員に関するモニター。東京弁護士会モニター。町田市廃棄物減量等推進審議会委員。まちだ市民大学HATS 26講座 修了。民生委員推薦会委員。町田市監査委員。東京都理容生活衛生同業組合町田支部 顧問。町田市軟式野球連盟 副会長。町田市赤十字奉仕団員 (献血回数:380回) ほか

推薦人 菊池馨美 教授 [早稲田大学法学学術院・早稲田大学理事]

町田市議6期目に向けての決意!!

☆まちづくりの推進

- 賑わいのある町田を、つくる!
- 安全に生活できる町田を、つくる!

☆高齢者・障がい者支援の拡充

- みんなが支え合う町田を、つくる!

☆文化芸術・スポーツの振興

- 文化芸術・スポーツ活動の促進・支援!

☆子育て・教育の充実

- 安心して、楽しく子育てができる町田に!
- 生涯にわたって学び、成長できる町田に!

【直近の主な実績】 町田の中心市街地や町田駅周辺への来街者増への施策を市議会で度々質問。森野住宅周辺地区まちづくり協議会に参加し提言。人口減少を見据え、市の歳入増の施策を市議会で質問。不要な入れ歯の回収ボックスを市役所等に設置、寄付金を募る。文化芸術ホール早期建設を市議会で度々要望。町田市軟式野球連盟副会長として市民球場の整備を推進 ほか

立憲民主党 公認

人と動物にやさしい町田へ。

私たちも 前 衆議院議員 伊藤しゅんすけ 応援しています。 東京都議会議員 東 友美

プロフィール

1977年8月生まれ。相模原市出身。相原小・中・高校卒業。小山町在住。横浜国立大学大学院修了。社会福祉士、動物愛護、多摩環境にあるIT企業勤務等を経て、2022年町田市議選で初当選。

資格 社会福祉士/防災士/消費生活コンサルタント/日商簿記1級/1級FP技能士/税務会計能力検定消費税法1級/介護サービス情報公表制度調査員/地域密着型サービス外部評価調査員

最新情報はこちら

1 医療・福祉改革

- 町田市民病院の機能強化と経営改善
- 認知症施策と成年後見制度の充実
- 医療・福祉人材への支援の充実

2 子ども子育て施策・教育の充実

- いじめ・不登校対策の推進
- 経済的に困難な世帯を対象にした塾・習い事代の支援
- スクールバスの導入・通学路の安全確保

3 動物愛護の推進

- 避難施設におけるペットの受け入れ体制の整備
- 保護犬・保護猫活動を行っている団体への支援の充実
- 人も猫も暮らしやすいまちづくりの推進

4 暮らしやすいまちづくりの推進

- 通院・買い物に困難な方への移動支援の充実
- 市民の皆様への「声に応える」物価高対策の実施
- 特殊詐欺・ドキュメント対策および消費者教育の推進

5 地域課題への取り組みの推進

- 相原地区から八王子医療センターや相模原協同病院へのバス交通の実現
- 多摩境通りなど小山地区における道路・交通問題への取り組みの推進
- 小田急線小山田への延伸と小山田駅(仮称)の早期実現

杉山 ひろゆき

37歳

無所属

本日の市民の声を形に!

・町田駅前映画館を! 以前町田駅前は2館の映画館がありました。町田駅前への流入人口拡大、周辺自治体との競争に勝つため町田駅前に映画館を中心とした複合施設を誘致します!

・現役世代の所得増大! 現役世代には、税金や社会保険料の負担が重くのしかかります。国で施策は考えられているようですが、住民税の軽減措置を行うとともに企業側が支援強化から所得の増大を目指します!

・親子で遊べる場所を増やす! 安全への過度な配慮や維持費の増大から、公園が減少し、公園内の遊具も減少傾向にあります。里山の利用拡充、公園内施設の充実を図るとともに、親子で楽しめる屋内施設の設置を進めます!

町田の暮らしに 医職住+防災を!

プロフィール

・1972年9月 神奈川県川崎市生まれ

・1985年4月 町田市立南中学校 入学より町田市民 (延べ約35年居住)

・FAXコピー修理屋や居酒屋従業員などを 経て、約24年間大型トラック運転手

・2020年度~2021年度 都立高校PTA会長2期

・2021年度 都立学校PTA連合会理事長1期

医療

市民の声が反映される街作りを市民目線で達成します。

高度医療も受けられる安心医療の町田へ! 町田市内で高度医療が受けられるよう、市民病院の機能強化や町田市北西部への総合病院の設置を目指していきます。

職業

ベッドタウンの町田から働く場所もある町田に! 障害者や高齢者の働く場の確保はもちろんですが、子育て世代も遠距離通勤せず市内で働ける場所を誘致していきます。

住宅+防災

少子高齢化が進むなかこれから安心して住める町田へ! 約2万7千戸もある団地の老朽化対策と、空き家の活用で家賃の高騰を抑えて、住まう権利を維持できるよう推進していきます。

首都直下型地震や豪雨災害などを想定した災害に強い町田を! 市立学校の統廃合の見直しも含めた避難場所の確保や、食糧備蓄を拡充するため地産地消の農業を広めていき、普段の暮らしのなかから災害にも強い街作りで安心安全の確保をしていきます。

個人推薦

つじ 恵

弁護士・元衆議院議員

渡辺げんたろう

信頼は実績が!

私も推薦します!

町田市市長 石坂文一

前座間市長 遠藤三紀夫

前下田市長 福井祐輔

町田商工会議所元会頭 平本勝哉

元町田市議会議長 大塚信彰

町田市消防団第9代団長 萩生田勝利

町田市歯科医師会元副会長 亀山光春

4期15年の実績を一部紹介

- ・都内で最大級の消防署の新設を実現
- ・厚木基地「米海軍空母航空団」の岩国移転に尽力し、町田市のジェット機騒音ゼロを達成
- ・公共施設の電気料金を年間4億1,400万円削減
- ・アメリカ海軍厚木基地・横浜市・川崎市と災害時応援協定を締結
- ・水道水汚染 (PFAS) の危機にいち早く対応

党利、党略、政局よりも町田が良くなることを第一義に!

プロフィール

昭和48年 町田市玉川学園生まれ。玉川中央幼稚園。町田第五小学校。南大谷中学校。都立町田高校。日本大学法学部法律学科。証券会社勤務。町田市消防団部長 (団歴31年)。/エイサー「町田流」2代目会長。町田消防少年団 副団長。/神輿会「幸神睦」会員。平成22年町田市議会 初当選。町田市議会4期 建設常任委員長、災害対策委員長 歴任。/一児の父

立憲民主党

渡辺 さとし

町田っ子のために これをやる!

なべちゃん

子どもの学びの保障を 全力でバックアップ!

学校に行けない子どものため、「学びの多様化 学校」の設置を進め、民間団体との連携をさらに深め、子どもの居場所づくりを進めます!

保育園の待機児童と 保留児童の解消へ!

子どもを預けたいと考える子育て世帯にとって、保留児童数増加は、受け皿整備が不十分の証拠です。多様な保育サービス体制整備を目指します!

教材費と修学旅行費の 負担ゼロへ!

公立小・中学校の学校給食無償化を継続し、さらなる子育て世帯の負担軽減を目指します!

大きくて太い私の右腕を 町田の太い絆にしてください! 伊藤しゅんすけ

NO! 選挙カー

騒音・渋滞・排ガス・税金ムダづかいの 選挙カーを、渡辺さとしは 使いません。

市議1期、消防団員、防災士、伊藤しゅんすけ元秘書 妻と2男1女、娘は3歳。子育て奮闘中、鶴川在住、46歳

渡辺 さとし 智士

(この選挙公報は、選挙公報の発行に関する条例第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿を、そのまま写真製版のうえ掲載したものです。)

(この選挙公報は、選挙公報の発行に関する条例第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿を、そのまま写真製版のうえ掲載したものです。)

まずは動く、現場主義！

政策

- ・「0円子育て」「小1の壁」解消へ
- ・都外区間へのシルバーパス適用
- ・相原駅の再開発、大戸踏切の整備

小野寺まなぶってどんな人？

昭和45年、東京都稲城市生まれ。専門学校の観光旅行科卒業後、ホテルマンを経て電気工事士へ転職。地道な努力が実を結び、一人親方として独立を果たしました。2006年に小売業の会社に就職。2014年から社長に抜擢、社員の声を真摯に聴きながら、会社を切り盛りしてきました。

2022年、町田市議会議員選挙に当選。市民相談は600件以上。妻と1男1女、犬2匹の家族。矢部町在住。

小野寺まなぶの主な実績！

- ①移動販売を市内40カ所以上に導入
近くにスーパーなどが無く買物が不便だという地域の声を伺い、市や都と粘り強く交渉を続け、市や町内会・自治会等と事業者が連携し移動販売を行う仕組みが完成しました。
- ②子どもセンター、子どもクラブの整備推進
子育て世代の皆様からの「子どもが安心して遊べる場所が欲しい」という声から、子どもセンター「ばお」、「ただON」、「WAAAO（ばお分館）」や、「小山子どもクラブさん」を整備しました。
- ③忠生スポーツ公園、小山田蓮田緑地の整備
町田を魅力ある街にするため、芝生広場、複合遊具や健康遊具などが整備された「忠生スポーツ公園」、大賀ハスの魅力を生かした「小山田蓮田緑地」の整備を推進しました。

公明党公認

小野寺まなぶ

国民民主党

かなざわ敏文

4つの重点施策

1 心身ともに健康的な生活をおくる

——人生100年時代を、自分らしく生きるために——

●物価高騰から家庭、学校給食、福祉施設等の食環境を守ります。
●「介護の社会化」を進め、地域全体で支える仕組みを整えます。
●健康寿命の延伸を目標に、全世代対応で予防的アプローチを拡充します。

具体的な取り組み

食育活動推進、運動の環境整備／給食の質・量を担保する予算計画／地場野菜・産物の生産・販路拡大／各種ワクチンの接種費用・フルミスト費用の助成／フレイル予防と在宅介護・医療体制の充実

2 誰もが最適な環境で学べる

——全世代に広がる学びが、豊かな人生をつくる——

●これからの時代を生き抜く「強い学力」を育てます。
●町田市全体で生成AIの適切なリテラシーを高めます。
●生涯学習の成果を、地域や職場で活用できる機会を増やします。

具体的な取り組み

東京23区との教育格差解消／生成AIの安全・利便性を考慮した適正利用の推進／フリースクールの充実と保護者負担軽減／習いごと・スポーツ・留学費用の助成／生涯学習の参加率向上に向けた取り組み

3 安心して子育てができる

——子育ての負担を減らし、将来に希望が持てる社会をつくる——

●出生から成人まで切れ目ない支援を継続します。
●地域連携による安全教育を強化し、日常の安心安全を獲得します。
●子育て層に選ばれる環境を整え、年少人口減少に歯止めをかけます。

具体的な取り組み

保育料無償化の拡充／長期休暇中の昼食提供／教材費・制服代・修学旅行費の助成／医療的ケア児の支援体制整備／夜間通行・危険箇所の改善／いじめの抑止と原因究明の徹底

4 現場第一主義の災害支援体制

——迅速・的確・健康的に日常を取り戻す——

●発災時に自分と家族を守る「自助」を啓発します。また最低限の備えを支給します。
●物流業者や食品メーカーと連携し、迅速な物資供給体制を整えます。
●避難所や家庭での安全・健康を守り、一日も早い復旧を目指します。

具体的な取り組み

一人ひとつ防災リュックの配置／災害犯罪の未然防止と厳罰化／災害食実習の学校教育導入と地域の実践講座／被災者の教育・再就職支援／避難行動要支援者へのきめ細やかな配慮／PTSD自由診療費の補助

最新情報は

かなざわ敏文
Xアカウント

応援しています

国民民主党代表
玉木 雄一郎
国民民主党幹事長
榛葉賀津也

プロフィール

1978年（昭和53年）生まれ。47歳。福島県出身。県立相馬高校、神奈川大学経済学部経済学科卒業。就職氷河期による就職難のため、進路変更して調理の道へ。その後、「栄養」の奥深さに触れ、専門学校へ入学。病院で栄養・給食管理に従事。2011年3月、福島県で東日本大震災により被災、原発事故の影響もあり、町田市に転入。母校の専門学校職員として勤務する。社会人学生として福井大学教職大学院を修了（教職修士）。2024年2月より国民民主党東京都連に政策委員として所属。趣味はキャンプとウインタースポーツ。座右の銘は「我以外皆我師」。

投票日

2月15日(日)

投票時間

午前7時から午後8時まで

※投票日当日は、投票所入場整理券に記載の投票所での投票となります。

（この選挙公報は、選挙公報の発行に関する条例第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿を、そのまま写真製版のうえ掲載したものです。）

投票日当日に仕事や学業などで投票に行けない方

期日前投票をご利用ください

期日前投票所一覧

施設名	期日前投票期間・受付時間
町田市庁舎	2月9日(月)～14日(土) 午前8時30分～午後8時
都営金森第8アパート 集会室※ ①無	2月10日(火)～13日(金) 午前8時30分～午後8時 2月14日(土) 午前8時30分～午後5時 注：2月14日(土)の投票時間は午後5時までとなりますのでご注意ください。
なるせ駅前市民センター ①無	
鶴川市民センター	
忠生市民センター	
片所町内会館※	
堺市民センター	
玉川学園コミュニティ センター ①無	
ネコサポステーション 町田木曽 ①無	
和光大学ポプリホール鶴川 ①無	
南町田会館 ①無	

※混雑が予想されますので、可能な限り他の期日前投票所をご利用ください。